

磐城時報

編輯部 磐城郡平町新田十四
印刷部 磐城郡平町新田十四
電話 磐城郡平町新田十四
發行所 磐城郡平町新田十四
社址 磐城郡平町新田十四
電話 磐城郡平町新田十四
電話 磐城郡平町新田十四
電話 磐城郡平町新田十四

栗山代議士乗出し 危くなつた水道起債

比佐代議士の運動も 結局は水泡に歸せん

平町水道擴張の起債が認可まであつたものが、昨今では却つて不
にもう一息といふ土壌場に運ん認可の意向に傾きつゝあるとの
だところ、茲に又一部町議情報が當局の手に入つたので一
が真向から擴張反對を唱へ同案層層憂慮するに至り、伏見町長
を援へさんと策謀し内務省へま及び委員は豫て盡力しつゝ、あつ
で陳情したため當局は非常に狼狽に折衝中であるので、招電あり次
に折衝中であるので、招電あり次

小橋文相 平驛通過

小橋文相大臣は二十四日午前
三時二分平驛通過の急行列車
で仙臺市に赴いたが平驛で水
戸から原町まで鴨原高等刑事
が同乗警戒した。

消防組頭會

平署管内
消防組頭會議は二十四日平署
署内に開き左の諸件を協議し
たが秋期消防組は十一月十日
前後迄の間に各町村毎に行ふ豫
定である。

経営困難な好間軌道 愈々レール取外し

石城郡好間村好間軌道株式會社から軌道運轉を中止し以來四臺
の平、好間間軌道は平合自動車の乗合自動車運轉によつて營業
運轉が許可になつて以來經營困難を續けつゝ、あるが、軌道廢止に
難に陥つてゐるが去る二十日重よつて不必要なる従業員十四
役會を開き協議の結果二十二日名は一ヶ月分の解雇手當を支給

本炭理事會 演三郡木 炭同業組合で理事會を開き冬 早川組合長宅で理事會を開き冬 期に向つて木炭の需要が増加す るためその対策を講ずる事にな つた。

四倉町入警兵

四倉町に於ける本年度の入警兵如左賣を行ふ。

富岡の愛兒殺し 平支部で陪審裁判

二十三日豫審終結

常磐線富岡町在上岡村地内鐵道
線路の傍らで去る八月二十日夜
九時頃愛兒長男敏明(九)次男
常雄(五)長女静枝(六)の三
名を鋭利なる西洋剃刀で殺害し
已れも自殺を圖つたが淺傷で死
に切れず徘徊中を翌日二十一日
夕刻富岡署に逮捕された東京府
下總戸町左官職諸岡吉藏妻はな
よ(二八)に關する豫審は平支部
中谷判事係りで續行中のところ
廿三日終結福島地方裁判所平支
部の公判に移される事となつた
が、同女が犯罪の動機には復讐
な事情もあり本人の辭退せぬ限
り陪審に付せられる筈であるこ
はなよは福岡縣の教育家の娘
に生れ一時は可成り手廣く石
城工場を經營してゐた吉藏に

磐城青年同盟會の 新陣容整ふ

磐城青年同盟會では二十三日夜
四倉町に於て幹部會を開き役員
改選を行ひ左記の諸氏に決定し
た、向は十一月より機關紙磐城
青年新報を發行する事になつた
▲會長 木村守江 ▲副會長 鈴木
勇 ▲幹事 長武藤 ▲遊説部長
神谷一郎 ▲機關紙編輯主任 酒
井興一郎
▲四倉支部長 菅波康太郎 ▲大石城郡内五大炭礦従業員の陸上

炭礦競技 會場調査

浦支部長高崎義雄 ▲大野支部
長草野又藏 ▲草野支部長坂本
惣次郎 ▲神谷支部長薄葉金重
▲相談役 門馬倉次郎 ▲渡邊貞
三、西山正清、新妻泰孝、木
村幸雄

あす交通安全デー 平署で大々的宣傳

十五ヶ所に標本を立てる

十一月から毎月五日が交通安全競技大會は二十七日平町磐城中
デーと定められ今月のみは二十學校庭で舉行の筈であるが二十
五日、二十六日兩日全國一齊に三日各炭礦代表者は會場を實地
安全デーを催される事になつた調査した。

労働者入用

石炭需要期に入つた
平職業紹介所では先頃より常磐
地方各炭礦と連絡をとり相互の
紹介斡旋に努力しつゝ、あり相
當以上の成績を収めつゝ、あつた
に鑑み各炭礦の出炭需要期が
到來した機會を計り従業員、採
炭夫等の入用が否かをこの程照
會したところ磐城炭礦、内郷、
小野田坑で五十名、入山炭礦で
三十名、福島炭礦で三十名、三
井炭礦で二十名、大日本炭礦で
二十名、その他大小炭礦を合算
して二百余名の多きに達してゐ
るのでこれ等炭礦に入込んで來
る炭礦従業員の出身地福島、宮
城、茨城、山形、秋田、栃木、
新潟、岩手の各縣郡市の職業紹
介所は二十三日失業者の利便を
計るため就職斡旋聯絡をこのこ
の通知を發し大々的に活動す
ることとなつた。

代金を拂はぬ 三坂の雜種地

石城郡三坂、澤渡兩村民三十四
名が昭和元年から三年までに平
稅務署内同地方における雜地財
産の拂下をなしこれを開墾して
相當の利益を見てゐるが、右州
四名は同署から拂下をなすと同
時に支拂ふべき拂下代金九千三
百圓を今に至るも拂下せず同署
からの嚴重なる督促をその儘聞
きながしてゐたが石川署長就任
以來矢の様な請求があり兩村當
局並に有志者としてこれを見
逃すわけには行かず主なるもの
を集めて協議をなしたが拂込み
をなす機運には至らず今年も同
地方において雜地財産の整理拂
下が多くある矢先その拂下も出
來ない始末にあるので全然支拂
はぬときはその筋の通告を待つ
て最後の手段をとることとなつ
てゐる。

不良自動車 姿を消す

車体検査の結果
既報の如く平、四倉、植田、富
岡各警察署管内自動車々体検査
は十八日から平町八幡小路の整

教員庭球試合

石城第一區小學校教員庭球大會は
廿七日勿來小學校庭で舉行する
拂下をうけて

中舊グラウンドに於て縣保安課今 井技師出張嚴重に執行し二十二 日午後四時終了したが、車体檢 査数は平百七十臺、植田四十八 臺、四倉二十四臺、富岡七臺、 合計二百四十九臺で、全体通じ て車体は不良亦れ(廢車又は修 理を要し使用禁止のもの)を貼 られたもの九十臺、再検査執行 されるもの十數臺、尚ほ自發的 に廢車したもの六臺ある状態に 検査の結果濱通り不良自動車は 大体において一掃された事とな つた。

豊間青年團を 人命救助で表彰

小舟から綱を投げて 危うき命九名を救ふ

去る十月十七日午前十一時頃石城郡豊間村大字豊間阿部彦治郎經營大敷網の土俵入替のため漁夫神田勘之助外十一名が土俵を満載した船に同乗し沖合二丁深さ三十尺余の處に差しかけた。際同所は平素から波が荒い處であるのに當日は風が強かつたため船が轉覆し乗組員は海中に轉覆し將に溺死せんとしたのを海岸で基本財産造成のため作業中であつた豊間青年團長鈴木道之助(三五)等が発見し團員百六十名を指揮して海岸の小船に分乗し遭難現場に至り綱を海中に投じて八名を救助、人事不省に陥り波間に浮んでゐた神田勘之助をも拾ひ上げたが、十名のうち一名島田熊太郎のみは行衛不明となつた人事救助事件は平署で調査の上二十四日知事に對し表彰方の申請をなした。

農事講演會

北海道帝國大學内山林學會主催で十一月五日、六日縣立相馬農藝學校内に於て開催、講師は同大學教授須田金之助、星野勇藏、吉川元明の三氏である。

交通安全デー

原町警察署管内に於ては廿一日から全國交通安全週間デーを廿五日に定め各工場、自動車協會、組合団体と協力し要所々々に安全デーの張札をした。

相馬獵友役員會

相馬獵友會は廿四日原町警察署に役員會を開き密獵取締に關し種々協議した。

奉安庫建設

相馬郡大聖小學校にて奉安庫建設する事となり村内より一般寄附金を募集中である。

四倉町で 貯水タンク

四倉町では四年度工事として新町漁業組合前に火防貯水タンク長さ五間、巾九尺、深七尺余のものに工費約五百圓で近く着工する。

原町通信

眞綿講習會

相馬郡上眞野村小學校に於て十月廿三日より五日間眞綿の講習會を開く。

時報文藝

顔

なかのいさを
疑つと探したが眼もない
どろりとした沼た
探るやうに見てゐる 私
眼がない
沼は氣味悪く笑ひかけた。
詩集「顔と樹」より

ハガキ集

(投書歓迎)
四倉町の國道は最近修理し

たが少々の雨天でも泥田の如くになるが縣土木課に於て緊縮とは云へ考へて貰ひ度い。
▲×町の親父さんに告ぐ!
貴女は年頃の娘さん春子とか知りませんか、毎晩十時過ぎ若い大きい中学生と散歩するあの自由な遊びを?もし暇があるならば親父の身として折りの不良ガールに話して下さい、私は中学生に話してや(知る生)▲新聞配達の某は實になまぬきだ、學校考査はゼロで戀愛は満点、朝などは高い聲を立て、野卑な歌を

賣地

商店向宅地

好間村大字上好間字忽滑六十一、一
間口十一間半奥行八間
九十一一坪

縣道に沿ひ好間郵便局眞西隣
好間尋常高等小學校に近し
古河鐵業株式會社好間製坑
前好間軌道停留所隣に近し
古河製糖は目下數百萬圓を投
じ新坑開鑿中、近く着炭す
れば人夫入込多く大有望地
地主 紺屋 町 久

地主 紺屋 町 久

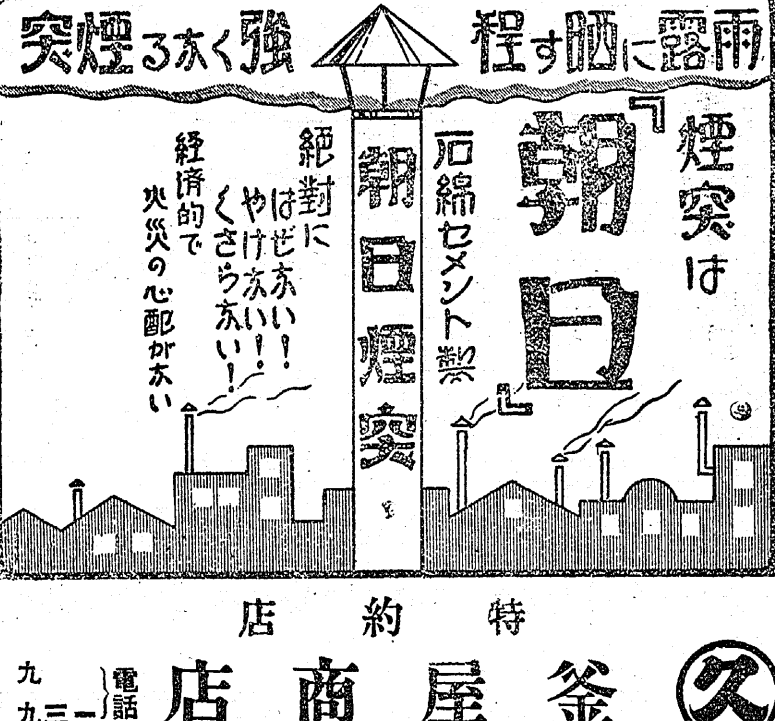
唄ひ他家の雨戸を叩いたり、何か珍らしい物あらば遠慮なく失敬する、少しは他人の迷惑を知れ。(開の眼)▲昨夜關の細道を肩を揃へて行く二つの影法師があつた、一つは平町の若き女性で、一つは平町の不良振りを發揮してゐる紺屋町通りのAとかBとか言ふ二人は戀の囁きをしながら曲り曲つて消えて行きました、よ、私もあの様子を思つて泣いて居ります、アキちゃん私にも可愛人を見付けて下さいね、お願ひします。(國造神社の使姫)

山崎合名會社

福島縣平町
電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番
上野車坂四三二
東京支店
電話(下谷五七二番)
振替東京六八三二二番

朝日煙突

石綿セメント製
絕對に
はやい
経済的
火災の心配がない



特約店 釜屋商店
電話 九三九

液体空氣會社製(酸素含有量九九.五%) 吸入用酸素酸素吸入器

(東京工業試驗所長證明)

正確な体温器寒暖計

特約店 磐城平町 開内藥局
電話 四〇番

高久病院

平町田町(電話五二三番)

醫學士 高久 忠
新編醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

一殺多生劍

松竹超大作・オスルーキヤ・トス・五末録の一の

忠を衛此の旅占門此の正篇に
記匠然・を
大藤伊巨・松
政大輔一・松
談談新維一・松
等にナマカ名と
つてマラマの時
代唐七武の界
映映映映映映
監督監督監督
監督監督監督

原松本常男
監督 佛生寺彌作
鳥羽陽之助・楠英二郎
芝居で有名な直侍と丑松
御家人には楠英二郎
暗闇の丑松には鳥羽陽之助
高勢・杉浦・花柳・吉野
など美人の活躍

奇聞 直侍と丑松 (全)
1 直侍と丑松 七卷
2 直侍と丑松 七卷
3 直侍と丑松 七卷
普通金 平 館

平看護婦會

會長 清野キヨ
平町字南町(電話三〇七番)

看護婦派出の需めに應じます

見市川右太衛門主演
高堂國典・泉 春子
土日曜學生感安デー 中學生金十錢・小學生金五錢